

2025年11月11日

東京新聞（中日新聞東京本社）

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

—日本初開催！東京 2025 デフリンピック開催まであと4日—
「学び」を通じて広がるデフスポーツの魅力！
東京新聞と漢検協会が『応援号外 デフリンピック漢字検定』を制作

11月15日から開幕する“耳がきこえない・きこえにくい”アスリートによる国際スポーツの祭典「東京 2025 デフリンピック」のトータルサポートメンバーである東京新聞（中日新聞東京本社：千代田区内幸町/代表：大場司）に公益財団法人 日本漢字能力検定協会（本部：京都市東山区／代表理事 理事長：山崎信夫／以下、漢検協会）が協力し、デフリンピックの魅力を多くの方に知っていただき、デフスポーツへの関心を高めることを目的に「デフリンピック漢字検定」を制作しました。

本取り組みは、東京新聞の大会サポートおよびデフスポーツ（聴覚障がい者スポーツ）の振興に貢献するという活動の一環として、漢検協会が「漢字検定」の作問のノウハウを生かして問題制作で協力したものであり、両者が役割を分担しながら実現したものです。

本プリントでの学びを通じて、デフスポーツの意義や多様性への理解を深めるきっかけになることを目指しています。

いよいよ始まる！100周年の記念すべき大会

応援号外

東京新聞

デフリンピック エール届け

きこえない選手たちの祭典 11/15(土) 開幕

11月吉日

手話で日本選手団のスローガンを表現する小倉涼選手と松元卓巳選手（東京都庁で）

耳がきこえない、きこえにくい選手のためのスポーツの祭典「東京2025デフリンピック」が11月15日に開幕します。デフリンピックは1924年の初開催から今年で100周年。今大会は21競技が行われます。応援の第一歩は、まず知ることから。東京新聞では、開幕前からデフリンピックに関するニュースを紙面や東京新聞デジタル（QRコード）で掲載していきます。

デフリンピック 話し声と同程度の55デシベルがきこえない選手が参加し、補聴器の使用は禁止される。陸上・競泳はスタート多クンブで知られる。会場は東京市中心に21競技を実施し、70〜80の国・地域から約3千人の選手が参加予定。開閉式は東京体育館で行われ、サッカーは福島県Jヴィレッジ、自転車は静岡県の日産サイクルスポーツセンターが会場となる。観戦は無料。

ウイリアム・ホイ選手は130年ほど前に活躍した米大リーグの名選手です。打撃と守備が抜群だったそうです。▼ホイ選手は大きな財産を残してくれました。セーファナ財団を設立し、アウトなら親指を立てる。諸君ありますが、審判が判定に使う動作を大リーグが採用するきっかけになった選手だそうです。それ以前は声だけでした▼ホイ選手は3歳のときに病気で耳がきこえなくなりました。野球の気では苦労します。審判の音がきこえないのです。ストライク、ボールの判定が分からなくて打席に集中できません。ある日、思い切って審判の導入を、ここから判定を体で示す動作の導入が進んだといえます。これは耳の不自由な人ばかりではなく、野球を見る人みんなにとって大切な贈り物になりました▼ホイ選手は聴覚障害スポーツについてこう語っています。「成功には訓練に、強い心と勇気が必要です」。いよいよ「東京デフリンピック」が開催します。ホイ選手がそうだったように参加するのはたくさんさんの訓練に立ち向かっていく人々です▼コーチとの会話の難しさ、仕事との両立という問題もあるですが、ホイ選手の言葉を借りるなら、世界中の「強い心と勇気」を持った人たちが集い、競い合うのがこの大会です。勇気のゲームの開幕が待ち切れません。

漢字とデフリンピックが同時に学べる

漢字で学ぼうデフリンピック

東京新聞 × 50th since 1975 漢検

裏面へGO！

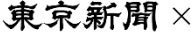
この企画はデフリンピックの魅力を広く知ってもらい、大会に興味をもってもらえればと東京新聞の号外をイメージして作りました。東京新聞は第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025のトータルサポートメンバーです。

※プリントイメージ表面（応援号外 デフリンピック漢字検定）

「応援号外 デフリンピック漢字検定」の概要

「応援号外 デフリンピック漢字検定」は、漢字とデフリンピックが同時に学べるプリントです。表面は新聞の号外を模したデザインで東京 2025 デフリンピックの開催日や、参加国・地域数から参加人数を知ることができるほか、東京新聞朝刊 1 面コラムを掲載しています。裏面では漢字検定を模した書き取り問題を出題。問題文を通じてデフリンピックの歴史や競技数、デフスポーツならではのルールなどが学べるようになっています。

デフリンピックについてまだご存じでない方にも是非手に取っていただき、大会の魅力や意義に触れていただければ幸いです。学校での授業はもちろん、ご家庭での学習にも幅広くご活用いただけます。


 東京新聞 ×
 
 since 1975
 
 漢検



漢字と
デフリンピックが
同時に学べる

この企画は、東京新聞の「大会サポート」及び「デフスポーツの振興」に貢献するという姿勢に共感し、公益財団法人日本漢字能力検定協会が問題作成に協力しています。問題は、「漢検」の配当級を参考にして制作しました。実際の「漢検」試験問題とは異なります。

4級

問5

手話は国によって うため海外との交流の場では「国際手話」が使われる。

4級

問4

「きくえない・きくえい」選手にちなみ、「 」を「視覚的情報保護」といいます。

5級

問3

球が回転する音や当たる音などがきこえなくても、最大限に生かしてプレーする。

5級

問2

デフリンピックは当初、「国際サイレント大会」と ばれていた。

6級

問1

オリンピックにはない種目「オリエンテーリング」という がある。

デフリンピック

漢字で学ぼう

全10問
解答は
左下です

2級

問10

「みんなてあはたく」がテーマ。8万票を が描かれたデザインだ。

準2級

問9

1924年の開催で、初回の参加国は9カ国。参加選手は148名でした。

3級

問8

視覚情報を頼りに広いコートでプレーするため、体力と集中力が必要です。

3級

問7

サッカーでは、 が笛と される。

3級

問6

今年デフリンピックから100周年である。初 から100周年である。

問10 鶴

問9 発祥

問8 審判

問7 実施

問6 開催

問5 違

問4 代替

問3 視覚

問2 呼

問1 競技

※「漢検」は日本漢字能力検定協会の登録商標です。日本漢字能力検定協会は東京2025デフリンピック大会の協賛企業ではありません。



TOKYO 2025
25TH SUMMER GAMES

※プリントイメージ裏面（応援号外 デフリンピック漢字検定）

【配布情報】

国立オリンピック記念青少年総合センターに設置される「デフリンピックスクエア」内の東京新聞ブースにて無料配布を行うほか、漢検ホームページでもダウンロードが可能です。詳細は以下ご確認ください。

▶東京新聞（中日新聞東京本社）

- 配布時期：11月15日（土）～26日（水）11時～17時
- 配布場所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター

デフリンピックスクエア内東京新聞ブース

▶ 日本漢字能力検定協会

- 配布開始時期：11月11日（火）～
- 配布場所：特設ページ「応援号外 デフリンピック漢字検定」

<https://www.kanken.or.jp/kanken/fun/tokyo-np.html>

以上

本件に関するお問い合わせ

中日新聞東京本社 編集局新聞開発室

E-mail : kaihatu@tokyo-np.co.jp

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 広報担当：石丸、真壁

TEL：080-9307-7614、090-9212-7056 E-mail：koho-c@kanken.or.jp